

はじめに 一応 語の説明

ライム

韻を踏むこと または韻を踏んだフレーズのこと
リリックは歌詞、フロウは歌いまわし

ポエトリー

ポエトリーラップのこと。
韻ではなくリリックに重点を置く場合が多い

ビート

ラップをする上でのバックミュージック
トラックとほぼ同義

DJ

ディスクジョッキー
ビートを流す人と思ってもらえれば

ブスブスブス は流す前の合図みたいなもの

サンプリング

他人の曲やバトルからフレーズを引用すること
盗用とは言わないで

パンチライン

パンツが見えること

OJ

お嬢様の略称 OJバトル ↓ お嬢様バトル

ダイナマイト☆はにーろー VS 神楽耶 VS 白鳥はじめ VS MARIA ~ 竜極OJバトル2021 決勝戦



薄暗い会場に人がみつちりと詰まっっていて、前方の舞台の上では、マイクを持った司会者らしき人物が何やら準備をしている。

やがて司会者は徐に会場の方へと顔を向ける。

大きく息を吸う。

「さあ、残すは決勝戦だけとなりました。では、さっそく登場していただきましょうっ！」

ブスブスブスブス (DJの音)

舞台暗転

正面の大きなスクリーンに映像が流れ出す。

「Aブロックを勝ち抜いたのはあ OJ屈指のライムメーカー その金髪は輝きの表れかあ 新進気鋭 渋谷の爆撃機い ダイナマイト☆はいろいろおおる！」

(観客の歓声 結構大きい)

舞台明転

舞台袖から背の低い、金髪ツインテールのお嬢様が元気よく登場。上はピンとしたワイシャツに可愛らしいリボン、下はフリフリのスカーツという制服姿で、右手には黒光りする金属バットを携えている。歓声に応えるように元気よく手をふる。(以下、ダイナマイト☆はにーろー)

「続きましてー」

再び舞台暗転

「死のBブロックを勝ち抜いたのはやはりこの人お 彼

女が作りだすラップはもはやアートー！ 誰もが認める
O J オブ O J 横浜の O J モンスター カーグーヤア
ー！」

(歓声 神楽耶ー！)

舞台明転。

舞台袖から黒髪ロングのお嬢様が登場。しっとりとした色の着物を羽織り、優雅に歩を進める。背が高く、凛とした顔つきには変化がない。余裕の表れか。右手のペットボトルを立ち位置の傍に置く。(以下、神楽耶)

「さあ、どんどん行きますよー」

三度舞台暗転

「C ブロック代表ー ポエトリーからの参戦ー 見た目もラップもオンリーワンー 彼女のライムには言葉が宿るう！ 埼玉のポエトリー O J！ 白鳥ハジメエエエ！」

(歓声 主に黄色い声)

舞台明転

舞台袖から黒髪ショートのお嬢様が登場。ワイシャツに黒いカーディガンを羽織っていて、下は紺色のズボン姿。ボーイッシュな出で立ちは女子生徒人気が高い。形の良い笑顔を作り、歓声に軽く手を振って応える。

(以下、白鳥ハジメ)

「さあそして決勝最後の枠う」

舞台暗転

「D ブロックを勝ち抜いたのは、まさかのルーキー！ 名家高屋敷からの出場お 彼女の上品なラップに中毒者が続出う 大阪の令嬢 マーリアー！！」

(それなりの歓声)

舞台明転。

舞台袖からゆるふわウェイブのお嬢様と、シャキッとした爺やが登場。ドレスのような派手な見た目で、あつ

ちこつちフリフリしている。髪にはえらく巨大なリボンが乗っかっていて、横の爺やは傘を指している。歓声に對して、ドレスを掴みながら笑顔の会釈。(以下、M A R I A)

四人がそれぞれ所定の位置に着く。右から、ダイナマ

イト☆はにーるーる、神楽耶、白鳥ハジメ、M A R I A。

「それではまずマイクチェックお願いします」

「イエー ワイ、ワイ ウウンー イエーイエーイエー

マイクチェックマイクチェックワンツーワンツー」

四人それぞれがマイクチェックを行う。はにーるーる

だけ長くてうるさい。

「大丈夫そうですかー？」

(観客の歓声)

四人がそれぞれ頷く。

「決勝戦のバトルビートはDJ武井に担当してもらいま

す。では武井さん、お願いします」

ブスブスブスブス (DJの音)

ダ——ッ タッター タッター ダ——ッ

タッター タッター (蜂と蝶)

(観客大盛り上がり 白鳥ハジメが頷き、はにーるーる

が人差し指を頭の上でブンブンする)

「なああああいすDJ——！！」

(大歓声)

「決勝戦は8小節2本勝負でやらせていただきます。みなさん、今日は朝から盛り上がって大分疲れていると思うんですけど、最後、思いつ切り元気出して、盛り上げちゃいましようっ！」

(大歓声)

「それでは決勝戦いきましよう。順番はこのまま、ダイナマイト☆はにーるーる、神楽耶、白鳥ハジメ、M A R

I A、DJは武井、8小節×2ターン、レディー」
緊迫の瞬間。

「ファイ！」

ブスブスブスブス (DJの音)

(ダイナマイト☆はにーるーる)

みなさまご無沙汰ごきげんようー

始めようビーツに調子はどうー (歓声)

Ride on 私がトップバッター

偽物たちがバッタバッター (煽り)

って吹っ飛ぶぐらいのフルスイング

お前ら服の趣味古すぎん？

私にバットはいらないの

ライムで頭カチ割るだけえ (ドヤ)

(首を傾げ、他のO Jを煽る)

(神楽耶)

私のセンスは別次元

確かな威厳が服に染みついている

リードのない犬は家にお帰り

ライムを倍にしてお返し (大歓声)

みなさん私に期待をしよう

偽物O Jとは土俵が違う

華麗に決着ドライブシュート

O Jラップは土台が重要 (歓声)

(後ろを向き、マイクを持ち直す仕草をする)

(白鳥ハジメ)

久しぶり 元氣？ なんて言う日が来るなんてね
色々言いたいことがあるけど取り敢えずただいま！

(歓声)

価値観とか、嫌いな物とか色々変わったけど

HIPHOP愛してるよあの日のまま！

(大歓声)

だから今日は同じ土俵に立ってる

ラップもこつそり続けてたよ

継続が頸動脈 いざファイナル

誰がヤバいかすぐさまにわからず

(観客に向き直り、胸を掴んで動かす)

(MARIA)

もーみなさま仲良くしましょう？

毒ばっかり まるで蜂の巣

その中私はフワフワ飛ぶ

母さま譲りの美しい蝶々々 (そこそこの歓声)

イエーイ 胸の高鳴り

上品なフレーザーが辺りに漂う

ただ酔ってるだけがお嬢様じゃない

偽物はわかんなくても 本物はわかるでしょう？

(口に手をあて、うふふと笑う)

(ダイナマイト☆はにーろーるるる)

はいはい知らない胸の高鳴り

笑っちゃうぜライムの詰めめ甘さに

いらぬよラップに上品さ

カッコよく沸かします3、2、1 (指文字)

偽物のベースに耳貸すだけ

無駄だぜ言葉の絞りカスだけ

ひいた引き金 一昨日来やがれ

あんた屍 ざまあみやがれ (大歓声)

(首を振りながら一回転ジャンプ)

(神楽耶2)

貴方たちはまるで井の中の蛙

知らない人ほど大海を語る

理性と本能が盃を交わす

私の勝ちが確信に変わる (大歓声)

出発点から終着点

スーパープレイのさらに数段上

引き金？ 偽物は銃殺刑

ベースのレベルが小中学生 (大歓声 司会笑う)

(表情は変わらずも熱くなっている様子)

(白鳥ハジメ2)

引き金、銃殺刑って殺し合いがしたいのか？

私はいつもそんなくそ真面目なこと考えてるよ

黒白黄だろうが本質は変わらない

ブラックもゴールドも切ったらレッド！

(地鳴りのような歓声 DJも手を挙げる)

HIPHOPとは己との対話

生半可な覚悟では 碌な言葉吐けない

そうやってみな立ってるこのステージの上

(MARIAの方を見る)

だから一人で立つのが最低限の礼儀だぜ

(ハジメ、少し怒ってる様子)

(MARIA2)

うるっせえ陰キャ 黙ってるカス

沸いてんのはフロアじゃなくて頭だろカス

どいつもこいつもメロンパンみたいな顔しやがって

淫乱どもは引火しろカス (ハジメ、首を横に振る)

雑魚黙らす お前ら泣かす

マイクでフロア沸かす 風呂沸かす

私はこのままゴールまで突っ切る

バアン！ ワンショットスリーキル (中指)

「しゅーりょーっ」

(客の大歓声)

「なーいすバトル！ すーごいバトルでした」

(えんちよー、えんちよーと、すでに客からは延長を希望する声)

「ではまずは聞いてみましょう。良いですか？ 決めま

すよ？ 一番、ダイナマイト☆はにーろーるが勝つたと

思う人！」

(歓声)

「つづいて、神楽耶！」

(歓声)

「白鳥ハジメ！」

(歓声)

(歓声)

「MARIA」

(歓声)

「うーん。私には決まったように見えただけだね。

どうでしょう」

(他のスタッフと相談している様子。会場はざわついて
いる えんちよー、えんちよー)

「決まりました」

(二呼吸)

「ではいきます。OJラップく本物は誰だ〜2021、

優勝は——」

(大歓声)

おまけ

「はい、ということで決勝前のダイナマイト☆はにーろ
ーるちゃんに来てもらいましたー」

「お願いしまーす」

「どうですか。決勝前」

「緊張してますね あはは」

「二大会連続だけど、やっぱり緊張するもん？」

「何回やっても慣れないですよ。それに今回は周りが凄
いメンバーなんで、なおさら」

「すーごいよね。神楽耶ちゃんにハジメちゃんって。ま

たこの対決が見れるとは思ってなかったから」

「二ファンとして超楽しみですね」

「あははははは」

「特に神楽耶さんなんか、画面の中の人だと思ってたん
で」

「でもそんな中、堂々と予選から這い上がったの決勝で
すよ」

「いやでもホント、決勝に来ることを目標としてたので
素直に嬉しいです。決勝では思いつ切りかましたと思
います！」

「はーい。はにーろーるちゃんでしたー」

「イエーイ。シーユー！ あとハジメちゃんには負けま
せーん」

おまけ2

「決勝前の神楽耶さんです。お疲れ様です」

「お疲れ様です」

「どうですか。今回は久々に白鳥ハジメちゃんも出てく

るということで」

「そうですね……ちよつと……面識がないので、何とも
言えないんですけど」

「嘘つけ！ 嫌になるほどやってるでしょ」

「ふふふふ」

髪型を直す。

「でもハジメさんとは確か八回くらいやってて」

「決勝だけで？」

「そうです。それで一回だけ負けてるんですけど、それ
が最後の一回なんですよね」

「え！？ そうだっけ？」

「そうなんですよ。勝ち逃げされちゃってるんですよ。

だから今日は挑戦者として全力でいきたいと思えます」

「それ聞いて俺もつと楽しみなっちゃった」

少しのカット。

「吉田さん。私は貴方が路地裏でくず鉄拾ってる頃から
知ってますけど」

(吉田さんとスタッフ爆笑)

「風俗嬢から五十万借金してた頃から知ってますけど」

「やめろやめろ！ 全部ホントのことじゃねーか(笑)」

「今日、実際に会場を見て、こんな大きな会場を借りら
れる人になったんだなって、私ちよつと感動してます。

今日は若い娘たちも出てるけど、吉田さんには昔からお
世話になってるので、今回は私が花を添えるじゃないで
すけど、会場盛り上げて、優勝して少しでもお礼ができ
たらなと」

「こーいうこと言っんですよ。この人は。変なとこで泣
かそうとしてくる」

(スタッフ爆笑)

おまけ3

「白鳥ハジメちゃんです。お久しぶりー」

「いや、ほんと、お久しぶりですね」

「何年ぶりかな？」

「二年……かそこらじゃないですか」

「もうそんなに経つのね。どう？ 久々のバトルは？」

「いやー、血が滾りますね」

拳をポキポキする。

「ハジメちゃんが言うのと冗談にならないから！」

「あはははは」

「空手やってたんでしょ？ 二年間」

「はい。まあその、家の道場を継ぐためについて感じですけど」

「はあー。偉いわ。でもなんかね、こう、ますますお綺麗になられて」

「吉田さんも、ようやく路上生活脱却できたみたいで良かったですね」

「一回もやったことねーよ！」

(スタッフ爆笑)

「で、どんな感じですか？ 決勝の相手は」

「そうですね。神楽耶とはもう散々やってますけど、二年、間が空いてるんで、お互いどう成長したかちよっと楽しみですね。はにーろーるは、まあ、あいつがこんな小さいころから知ってますから、単純に負けたくないですね。負けたら後ですーごいうるさそうだし」

「ああー(笑)」

「バトルやめる時もすんごいうるさかったんで」

「愁傷様です」

「MARRIAさんとは面識がなくて戦ったこともないの

で、どういう準備をしてきているか、それがちよっと不安なところというか、怖いところですね」

「ダークホースって感じで」

「そうですね」

おまけ4

「初参加で初の決勝という快挙ですが」

「そ、そうですね。これ、これもひと

えにおお嬢様の人徳がなすところとい言えるでしょう」

「決勝戦の意気込みというか」

「ききだいのめいかたかやし
きけのいいげんとふふうかく
をたけにししめすいきかい
だとぞんじておりますたか
やしきけのはじまりはへへい
あんじだいにさささかのぼり
ますが

〔中略〕

うえっほうえっほうえっほ
ええうえっほうえええっほ
あっうええええええっほ